

平成22年3月20日
飯田恭次
用賀出張所
TEL. 3700-3657

第 79 号	任 務	号者局
第 79 号	行	

長岡武男

衆議員速記者養成所跡地の
の乱開発の危惧から、周りの
の住民を中心に話し合いを
重ね、緑を残し子どもや地
域住民の健康と豊かな生活
を創るための場所にとの
願いを込めて七四一八名の
署名を集め区議会に陳情し
た。

二月七日上用賀四丁目街
づくり協議会設立総会を開
催、熱心な討議の後無事承
認され初めの一步を踏み出
した。

上戸賀町会や区議の各様から頂いた暖かいご祝辞の中で、区が衆議員速記者等咸所跡地の有効活用について検討中との嬉しいニュースが入り一同喜びに包まれた。これは町会や区議のご支援と多くの地域の人達の暖かい絆で集まった署名の結果かと思われる。前途多難だが皆様の知恵と力を合わせ住みよい街づくりの一助として、街づくり協議会活動をしていきたいと思つてゐる。

(上野大塚目街より協賛会副会長)

玉川町 原 佳子

最近は入学前にひらがなを讀み書き出来る子が多くなりましたが、小学校に入ってから正しい書き順やバランスなどを基本から勉強します。

二期玉川小学校では、各学期毎に「ひらがな名人」を目指して、学校、町会会、地域の人々の協力のもとに「ひらがな検定」を行っています。町会長をはじめ町会の中の同期生のネットを生かし採点しています。

採点を担当した山室さんは、「一生懸命」「真剣」が用紙の消しゴムの跡から伝わって採点に悩む程です。基礎を大切にと思ひます。(三子玉川小学校同窓会会長)

三子玉川小学校同窓会会長

瀬田商店会会長になって

思ふこと

山本芳正

一昨年五月に、瀬田商店
会会長に就任する事になり
ました。

当初は、この様な大役が務められるかどうか大変不安でしたが、実際に二年弱経った現在、振り返ってみると、周りの方々（商店会・町会・地域等）の手助けによって、何とか務める事が出来ました。これもそれも、この方々との「絆」があったからだと感じています。

これから、**「絆」**をもつと大切にしていきたいと思います。

皆様も、人との「絆」を大切にしてほしいと思います。
(瀬田商店会会長)

(瀬田商店会会長)

用賀早田 森泉博

四月から全ての住宅に、
住警器の設置が義務づけら
れます。住宅火災で亡くな
った方の約六割が55歳以上
の高齢者、逃げ遅れが原因
で亡くなった人が六割以上
と言われます。早く火災の
発生に気づけば助かった方
も多かったのではと思いま
す。

住警器は煙や熱をいち早く感知し、警報音や音声で知らせてくれます。設置する事で万が一、火災が発生した場合、素早く避難が出来る様になります。

かけがえのない生命財産を守るためにもぜひ設置して下さる様お願いいたします。(市消防団第二分団長)

（五）消防団第二分団長

瀬田二丁目 石本六二

玉川台市民センター運営協議会に加わり、地域の連帯促進を使命に年間を通じて各種イベント、講座、バス旅行、ウォーキングなどの旅役を務めております。

お蔭様で参加の方々との親近感も深まりました。関係先や地域の皆様のご支援に感謝しております。

あの阪神大地震を故郷神戸の激震地で体験して、有事の際の近隣助け合いの基盤となる、平素からの心の触れ合いの意識を痛感した身ゆえ、当地在住の方々の連帯感を感じ、嬉しく心強く思っております。

(五) 川台區民也ニタテ
理學協賛會委員長

飯田恭次

多摩川の川面に春の日が
キラ／＼光り、遙か西の空
には富士山を背に丹沢や奥
多摩の山々が遠なる。

私たちの町は都市化が進んだとは云え、未だ田園の風景が残っています。

然し、この十數年來、所謂、パブル経済の崩壊と云う大波の中で、町の姿は大きく変つて來ました。

又、交通機関、通信手段の発達には私たちの日常生活の上での時間距離を大幅に短縮しました。

看

一方、身近な生活圏、隣近所での人間関係は疎遠となり、地域コミュニティの希薄化は一段と進みました。橋山内閣の「友愛」ではありませんが、最近、あち

こちで、耕々と云う活字を
目にする事が多くなりまし

た。いかに科学技術が進歩しても、私たちは、やはり人と人の輪の中で生活している事の再認識。

OK

今、学校や商店街で挨拶運動が広がっています。

「その一言で励まされ、その一言で傷がつき、その一声が笑顔呼ぶ、家庭でも、学校でも、職場でも、そして、道端会議でも、まず、心の通うコミュニケーション、明るい挨拶を通じて、人と人の絆を大切にしたいものです。」

季節は花から若葉へと、
四月は新たな一歩の始まり
です。

郷土紹介

水道みちと

渋谷水道

玉井孝吉

池田良夫

用賀三丁目共立信組の裏から真福寺の前を通りOKストア環八に向って真直な道が続いている。これが水道みちである。東は、駒沢の給水塔、西は多摩川の砦下浄水場まで延々と続く。

水道みちは、地下に水道の本管が埋設されている為、重畳車両の通行が制限され進入禁止の柵が設けられて、いる場合が多いので分り易い。桜新町の裏通りや鎌田の畑の中に見る事ができる。天正の末、首都圏が拡大し急激に渋谷の人口が増加元々井戸水が乏しかった地に水不足の拍車がかかった。

大山道場

平井夏子

大山道場では、地元の方々を対象に、町会や商店街の方々も参加して、月に一回大山道場を中心に用賀の歴史を学んでいます。

地元の方、特に用賀に古くから住んでいらし、しやる方でないといわれない地域の歴史を、用賀に縁のある方々に広く伝え、次の世代へ語り継いでいきたいという思いがあります。

私自身は、地元の歴史を知りたい、また同じく郷土史に興味を持って、いる人と一緒に活動したいと思っていました。地域の歴史に詳しい地元の方に話をきいて、勉強できる機会はないかなと難しいと思っていました。ですので、こ

語り継ぐ

地元では、多摩川の水を引こうではないかの話が持ち上り、ここに渋谷水道の建設が始まった。

取水の方法が画期的で、河原にYの字型の土管を埋めて、川底を流れる伏流水をそのままポンプで駒沢の給水塔へ送るというのである。

駒沢の給水塔の水圧を利用した自然落下の給水も当時の高い技術水準を伝えている。

岡本氏家園の脇に掘られた水道トンネルも、サイロンの原理を応用した優れもので、日本の近代化遺産として後世に残したい一つである。砦下上水場のポンプ室は大正ロマンを感じさせる建物で、フランスマルセイユの西洋瓦の景色が良く似合う。(玉井孝吉会長)

大山道場に参加させていただき、用賀地域の歴史を地元の方々のお話を聞きながら学ぶことが出来るのはとてもありがたいと思っています。

道場の活動としては、スタートした昨年度は、実際に大山を訪れたり、「大山詣」の落語寄席を開催したり致しました。今年度に入ってから、は、大山道を核とした用賀の歴史散策マップを作る為、みなで、地元の歴史を学んできました。また用賀名物の試作、試食もおこないました。そしてゆくゆくは、ここで学んだことを語り継いでいけるようになれば良いなと思っています。

(大山道場おし委員会委員)

私の愛する玉電

玉井孝吉

大塚勝利

世田谷生まれ世田谷育ちの私にとって、常に身近なふるさとの風景は、多摩川と玉電である。

瀬田で生まれた子供にとって多摩川は自分の家の庭の様なもので、終ての思い出は多摩川へつながる。

兵庫島の周辺も、昔とまったく違ってしまったが、読売の飛行船と格闘、野川で晒す染物の長い布など、つい先日頃の様に目に浮かぶ。

砂利穴やカエルの餌で釣ったサリガニ、刺さる四角いアイスクリーム、次から次へと思いが飛ぶ。

三軒茶屋で蕎麦屋の修業をして、玉川高島屋と同じ

わが故郷

年に中耕地で大勝庵を開業して初年、玉川は大きく変わってしまった。

「世田谷ロマン玉電の店」としてテレビや雑誌で採り上げてくれるが、私の愛するチンチン電車は今もいない。

玉電への愛着は誰にも負けない。最後の花電車もカメラ片手に見送った。

今、私の店には、玉電の運転台が移動してある。私の誇るコレクションだ。私と同じ思い出のある方は、ぜひ一度ご来店あれ。玉電物のコレクションは数知れないが、『旧路線が田園の中の単線を経やかに走っている、畑には紫の花の黄色』これが私のふるさと風景だ。

スポーツ

①春の全国交通安全運動

4月6日(火)〜15日(木)

②二子玉川

花みずきステイブル

4月29日(木)

③瀬田フラワールンドの集い

5月22日(土)23日(日)

④古着・古布の回収

6月19日(土)雨天決行

9時〜12時

⑤用賀出張所の移転

平成22年9月21日から

用賀2-21-22に

移転します。



本号のテーマ、まちの絆づくり。『上用賀街づくり協議会』の記事を見て胸が熱くなる程でした。

30年程前、P.A.活動の際毎年衆議院選記者発表所より、金網を何度直してもすぐ破られるので「嚴重注意」とのお達しがありました。幾度注意をしても穴く穴を開けては溜り抜け過ぎるので、P.A.では芝生の所だけでも貸してはもらえないものかと嘆願しましたが、そう簡単ではありませんでした。今回の署名運動を聞き、知人友人片端からマナーの中で一人一枚(似)と頼みました。

ヤッター! 孫達には間に合ったかな。

(千野)